

製本のご依頼について

■「紙製本」、「金具製本」のご依頼・・・P2

■「リング製本」のご依頼・・・P7

■「紙製本」、「金具製本」のご依頼

製版データや刷り本納入の場合は、以下の内容をご確認の上、ご準備ください。

以下の仕様となっていなかった場合、乱丁・落丁などが起きる可能性があります。ご注意ください。

■ステップ1：製本サイズの確認

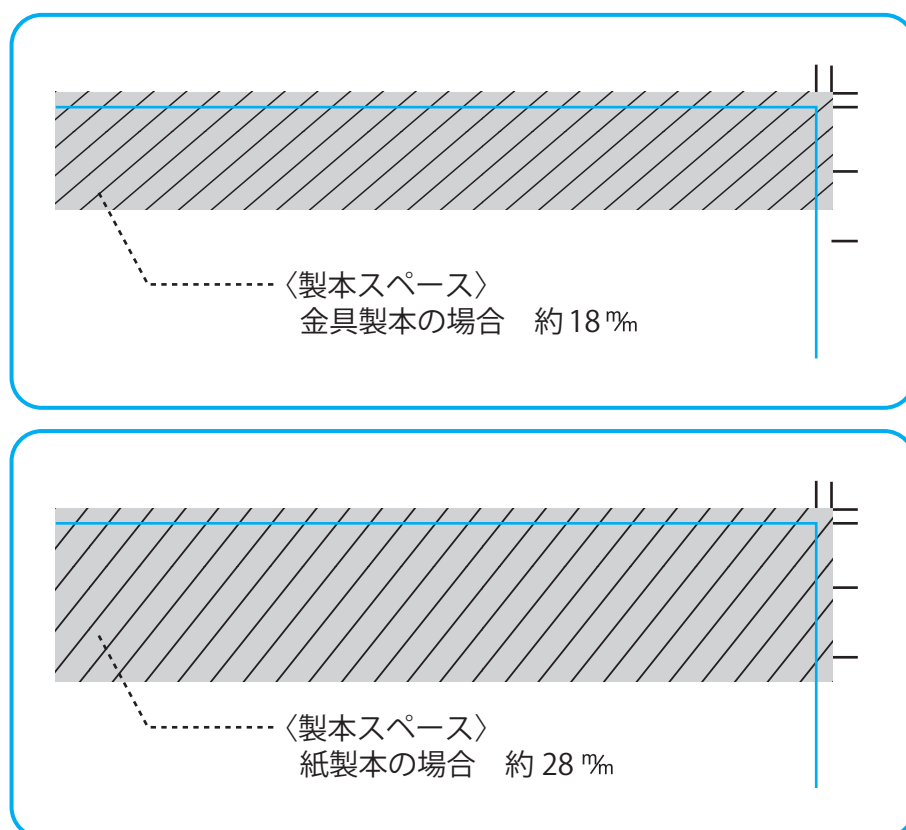
製本出来るのは以下の寸法内となります。下記寸法以外の場合は、ご相談ください。

左右サイズ：150mm～525mm

天地サイズ：300mm～788mm

■ステップ2：レイアウトの確認・調整

留め具近く（製本スペース）に文字などを配置したレイアウトの場合、文字が留め具で隠れてしまうことがあります。ご注意ください。



■ステップ3：1 ページ目（表紙）に「分離帯」をつける。

分離帯

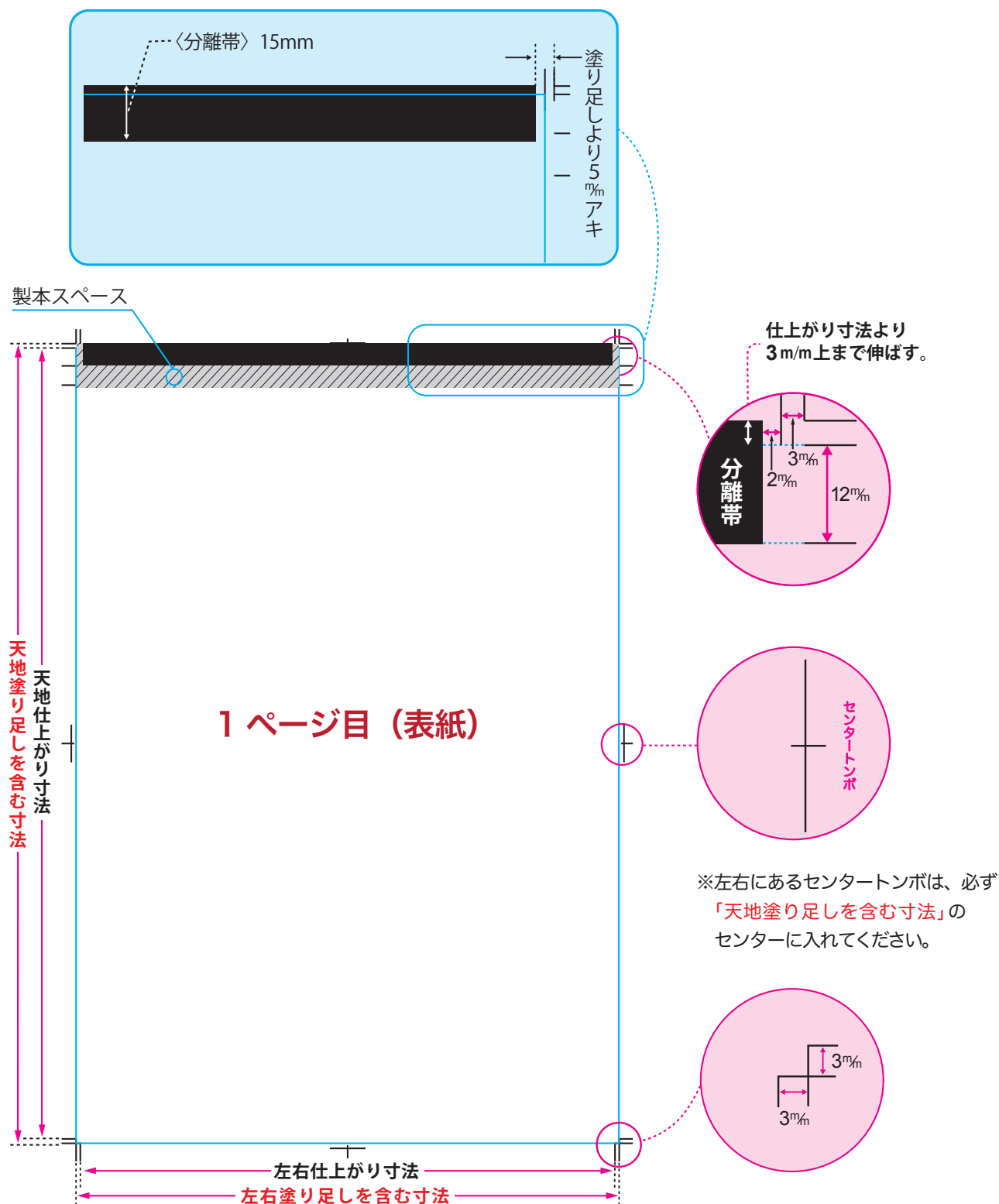
●色__インキ濃度を 200% にしてください。

例) CMYK 印刷の場合__BL100、C100

赤黒特色 2 色印刷の場合__赤 100、黒 100

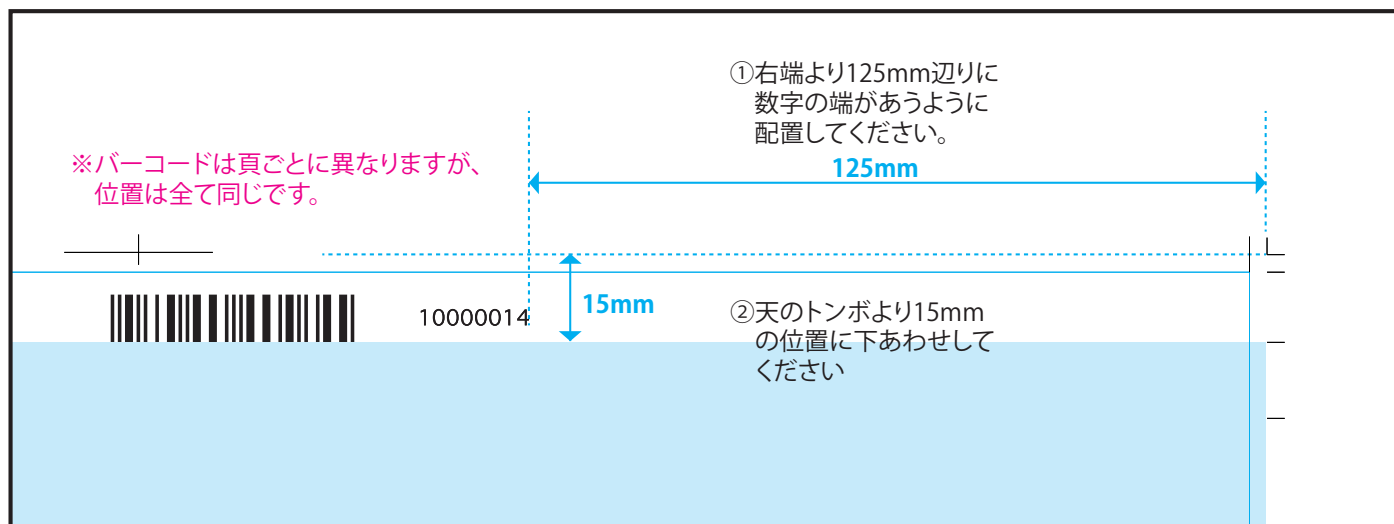
●サイズ__（左右）断裁された時、左右に 2 ミリの紙白が残るようにしてください。

__（天地）15mm（15mm のうち上部 3mm は塗り足しになります）



■ステップ4：2頁～最終頁に「丁合い用バーコード」をつける。

丁合い用バーコードは、製本機で乱丁・落丁を防止します。データをダウンロードして製版データにご使用ください。



■ステップ5：2頁～最終頁に「背丁」をつける。

背丁はページ順が正しいかを確認するためのものです。

- 色__2頁と最終頁は赤系の色。それ以外のページは黒系にしてください。

例) CMYK印刷の場合__2頁と最終頁：M100、それ以外の頁：BL100

特色2色印刷の場合__2頁と最終頁：赤 100、それ以外の頁：黒 100

- サイズ__(左右) 10mm

__(天地) 12mm (12mmのうち上部3mmは塗り足しになります)

- 形状__色帯の中に通し番号が入っています。

例) 13枚もの場合__1月は通し番号「1」、2月は「2」を使用。

7枚もの場合__1－2月は通し番号「1」、3－4月は「2」を使用。

- 左右位置__「1」の背丁は上部右端より、15～25mm左に配置してください。

「2」の背丁は「1」より7mm左に配置してください。

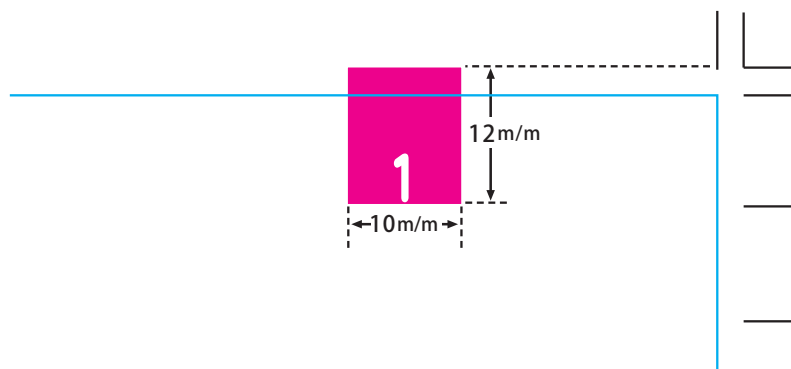
以降は7mmずつずらして配置してください。

※注意：最終背丁位置が次項の「丁合い用バーコード」の数字にかからないようにしてください。

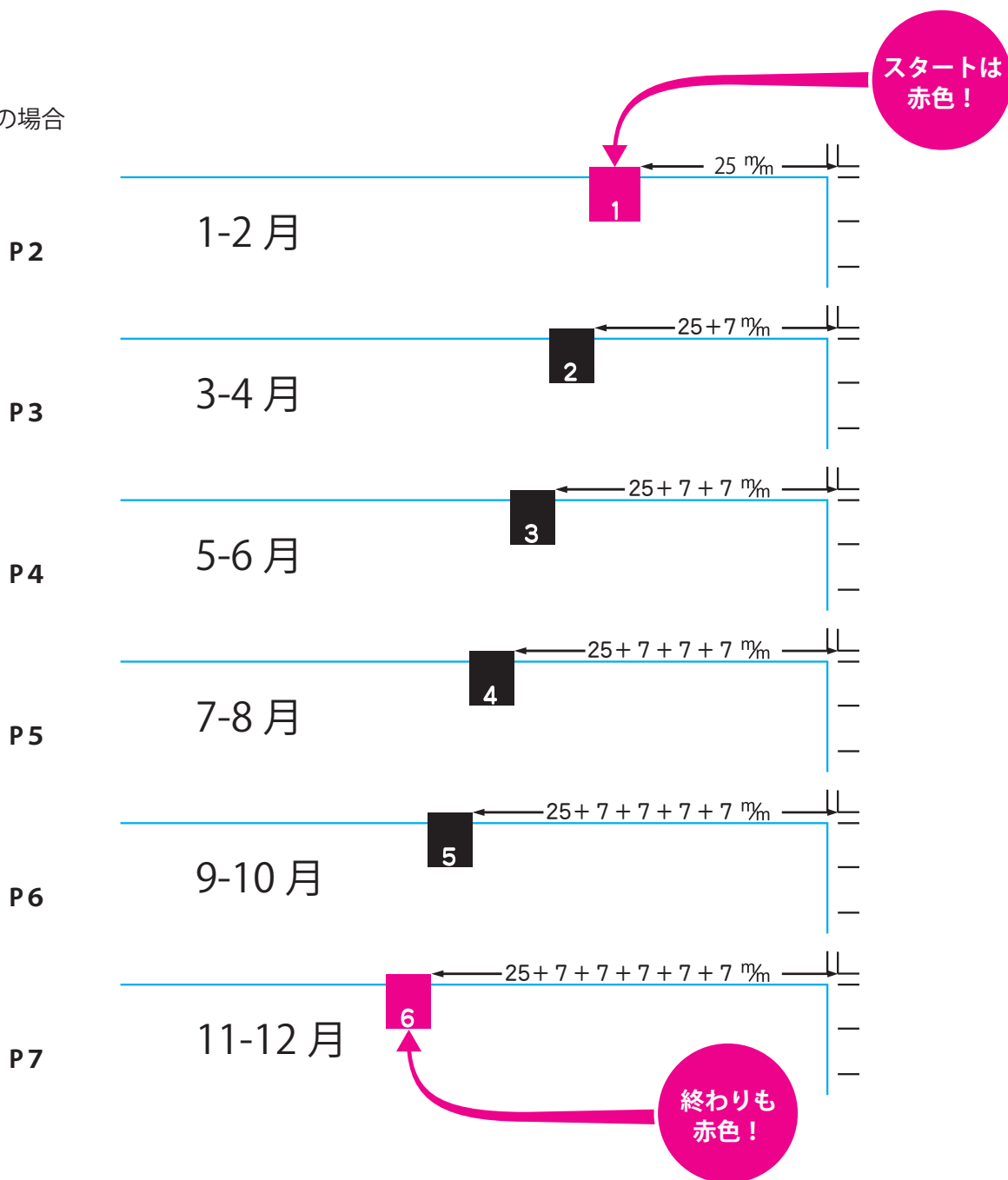
- 天地配置__塗り足し3mmが入るように天にあわせて配置してください。図参照。

※左右の幅の都合で、「丁合用バーコード」と「背丁」が入らない場合は、「丁合用バーコード」のみ入れてください。

背丁配置図：



例) 7 枚もの場合

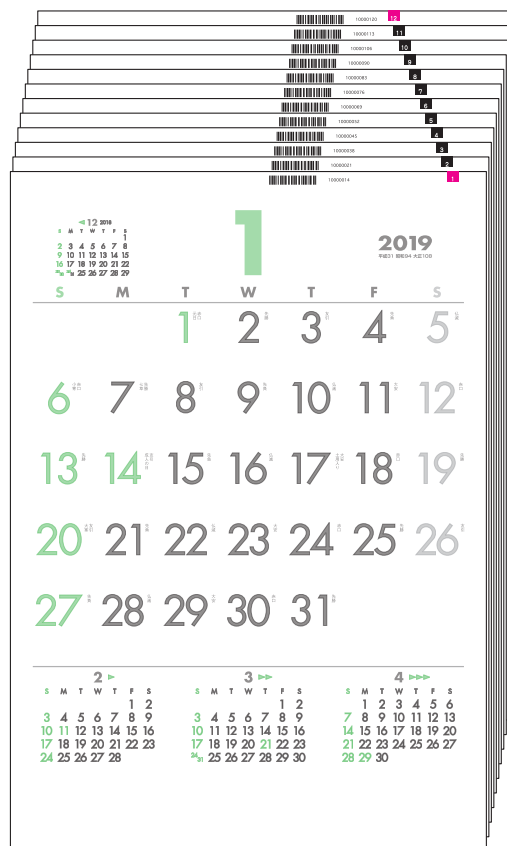


ステップ1～5を実施すると以下のような仕上がりになり、正しく製本することができます。

【完成図】



1 ページ目 (表紙)



2 ページ目以降 (1月～)

■「リング製本」のご依頼

製版データや刷り本納入の場合は、以下の内容をご確認の上、ご準備ください。

以下の仕様となっていなかった場合、乱丁・落丁などが起きる可能性があります。ご注意ください。

■ステップ1：製本サイズの確認

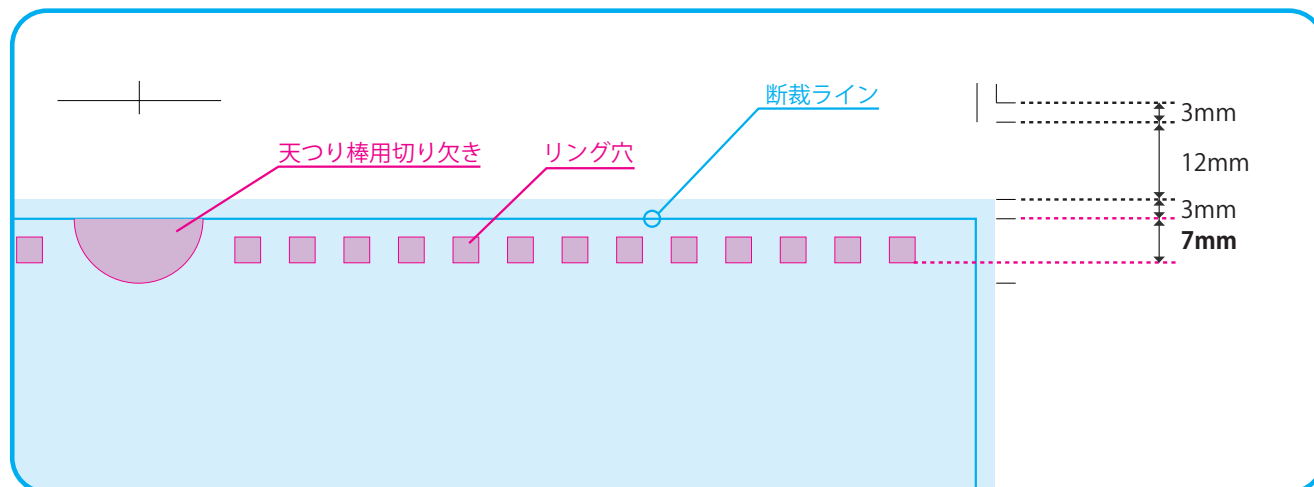
製本出来るのは以下の寸法内となります。下記寸法以外の場合は、ご相談ください。

左右サイズ：148mm～515mm

天地サイズ：210mm～788mm

■ステップ2：レイアウトの確認・調整

リング近くに文字などを配置したレイアウトの場合、文字がリング穴で隠れてしまうことがあります。ご注意ください。



■ステップ3：2 頁～最終頁に「背丁」をつける。

背丁はページ順が正しいかを確認するためのものです。この部分は最終的に切り取られた状態で製本されます。

●色__2 頁と最終頁は赤系の色。それ以外のページは黒系にしてください。

例) CMYK 印刷の場合__2 頁と最終頁：M100、それ以外の頁：BL100

特色 2 色印刷の場合__2 頁と最終頁：赤 100、それ以外の頁：黒 100

●サイズ__(左右) 10mm

__(天地) 12mm (12mm 中のうち 3mm は塗り足しになります)

●形状__色帯の中に通し番号が入っています。

例) 13 枚ものの場合__1 月は通し番号「1」、2 月は「2」を使用。

7 枚ものの場合__1 - 2 月は通し番号「1」、3 - 4 月は「2」を使用。

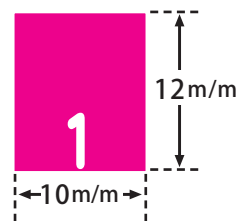
●左右位置__「1」の背丁は上部右端より、15~25mm 左に配置してください。

「2」の背丁は「1」より 7mm 左に配置してください。

以降は 7mm づつずらして配置してください。

※注意：最終背丁位置が次項の「丁合い用バーコード」の数字にかからないようにしてください。

●天地配置__塗り足し 3mm が入るように天にあわせて配置してください。



例) 7 枚もの場合



スタートは赤色！

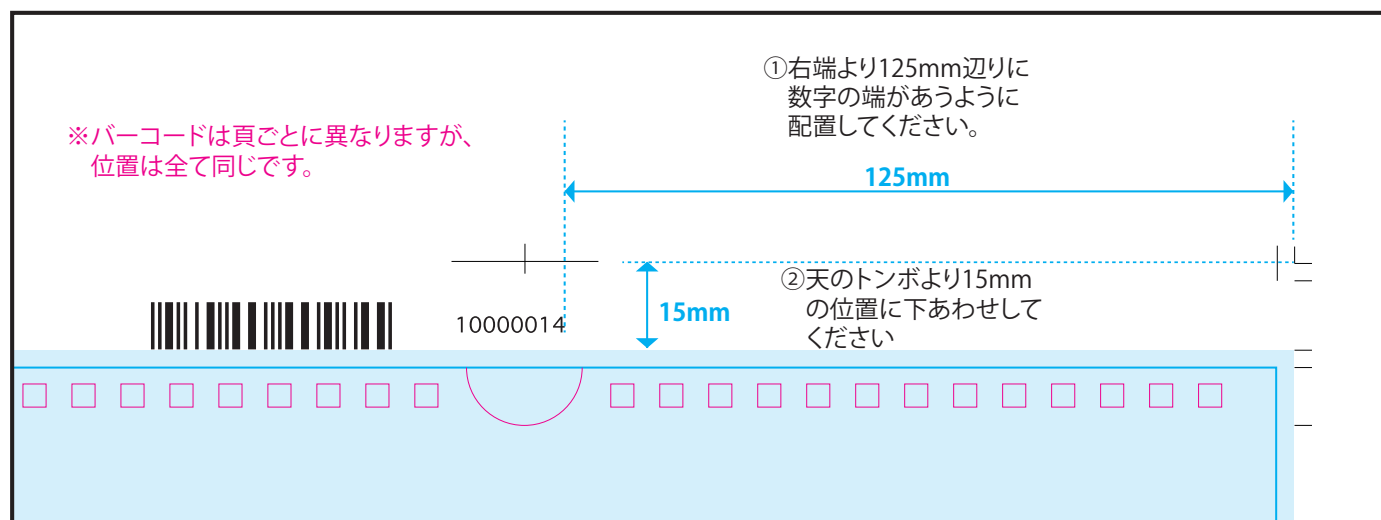
終わりも赤色！

■ステップ4：2頁～最終頁に「丁合い用バーコード」をつける。

丁合い用バーコードは、製本機で読みとり、乱丁・落丁を防止します。

下部よりデータをダウンロードして製版データにご使用ください。

この部分は最終的に切り取られた状態で製本されます。



ステップ1～4を実施すると以下のような仕上がりになり、正しく製本することができます。

